フォト通信

◆左上から、きょうだい会（姉夫婦と兄夫婦と一緒）（富山・金太郎温泉）、上田市消防団ポンプ操法・ラッパ吹奏大会：丸子第５分団の選手（上堀グランド）

◆真ん中上から、社会を明るくする運動「上田大会」（上田市文化センター）、国道 254 号線和子（わご）パイパス開通式。エネルギートークイベント「強くてしなやかな上田のつくり方」（上田映劇）

◆農産物直売加工施設「あさつゆ」の開設 15 周年オープン記念イベント：あさつゆと信州国際音楽村、椀子ワイナリーの連携が課題のひとつ（丸子文化会館小ホール）。国民平和大行進長和・丸子コース（大屋駅にて）

「地域の活性化と何か～地域への再投資の仕組みを構築すること」（岡田知弘さんの講演）

7 月 27 日～29 日、「憲法と自治のチカラが地域のミライを切りひらく」をスローガンに、第 61 回自治体学校 in 静岡が開かれ、全国から 900 人を超える皆さんが地域での実践を踏まえて参加し、内容を深め合いました。

1日目・全体会

◆会場は静岡市民文化会館、開会前に静岡で活動する太鼓グループが歓迎の行事。川瀬憲子学校長（静岡大学教授）があいさつ。3 人から「水道事業は公営でいいじゃないか」（池谷たか子さん。「県民投票が示したもの、問いかけるもの」（安里長従さん)。「日本一小さな村から自治を発信する」（和田知士村長）が特別発言がありました。

記念講演は、自治体問題研究所理事長の岡田知弘さん（京都大学名誉教授）講演の中で、①新潟県上越市での地域内分権の実践例　②政令市におけるあさつゆらたな取り組み（新潟市）　③地域づくりの具体例として、中小企業振興基本条例の内容と水準の向上（408 市区町村と４５都道府県で制定)、公契約（こうけいやく）条例は 2010 年２月の野田市以来 54 自治体へ拡大。要綱などを含めると７１に。④地域内経済循環、再生可能エネルギーへの注目について報告されました。

グローバリズムへの対抗、大災害時代と持続可能な地域づくりなどについて、展望が開ける講演でした。

２日目・分科会

～地域循環経済と一人ひとりが輝く地域づくり～

２日目は分科会です。10 の分科会と２つの講座、３つの現地分科会があり、第８分科会に参加しました。

助言者の岡田知弘さんからの報告に続いて各地からの実践例にもとづく報告がありました。

◆北海道からは、帯広市から「中小企業振興条例の１０年間と地域循環型経済の取り組み」について、稲葉さんから報告。

◆東北からは、気仙沼市の「震災から８年の地域経済そして中小企業・小規模企業振興基本条例の実現」について千葉さんから報告。

◆東京からは、世田谷区の「世田谷区における公契約（こうけいやく）条例とその運用改善を目指す取り組み」について、中村さんから報告

◆静岡県からは、「年金の地域経済に及ぼす影響と年金引下げ違憲訴訟の報告」について、山村さんの代理の方が報告されました。

★最終日の三日目は、「対話による協働のまちづくりを語る！」題して、西原茂樹さん（初代牧之原市長）が講演ししました。

自治体学校の魅力は、各地からの実践に基づいた報告です。また、世界の動きと政府の政策が全国の自治体にどのような影響が出ているのか、どのように考え、どのような取り組みが必要かのヒントが豊富にあることです。大いに参考になりました。